

令和5年中における災害件数（速報値）

～救急出動件数過去最多、救助出動件数も増加傾向～

市消防本部では、令和5年中の火災・救急・救助の災害件数（速報値）をまとめました。速報値の内訳と消防本部コメントは次のとおりです。

■火災

発生件数	29 件（前年比 3 件減）
主な種別	「建物火災」 10 件（前年比 6 件減、全体の 34.5%）
死傷者	3 人（死者 1 人、負傷者 2 人（前年比 1 人減））
り災世帯	7 世帯（前年比 5 世帯減）
出火原因	「放火の疑い」 が最も多く 5 件（前年比 4 件減）

■救急

発生件数	9,118 件（前年比 643 件増）※過去最多
1 日の最多発生件数	43 件（9 月 11 日）※過去最多
主な種別	「急病」 6,284 件（前年比 711 件増、全体の 68.9%） 「一般負傷」 1,433 件（前年比 72 件増、全体の 15.7%） 「交通事故」 511 件（前年比 12 件減、全体の 5.6%） 「その他の救急」 890 件（前年比 128 件減、全体の 9.8%）
搬送人数	8,293 人（前年比 666 人増）
新型コロナウイルス感染症の救急件数	352 件（新型コロナウイルス感染症と、発熱などの感染が疑われる事案に出動した救急件数となります）

■救助

救助件数	163 件（前年比 4 件増）
主な種別	「建物等による事故」 57 件（前年比 11 件増、全体の 35.0%）
被救助者	73 人（前年比 28 人増）

【消防本部コメント】

市内の火災出動件数は減少していますが、空気の乾燥する時期が続きますので、放火を防止するためにも、自宅の周辺に燃えやすいものを置かないなど、日頃から火災予防を心掛けるようご協力をお願いします。

救急出動件数は、最も多かった昨年を上回り過去最多となりました。増加の要因としては、今夏の猛暑の影響やインフルエンザなどの感染症、また人口増加や高齢化社会の進展などが考えられます。今後は更なる人口増加が見込まれ、高齢化率も進むことから、引き続き増加傾向が続くことが予想されます。また、搬送者のうち入院を必要としない軽症者が約 5 割以上を占めており、救急車を呼ぶべきか迷った際には「えびな 24 時間健康相談ダイヤル(0800-300-7925)」を活用していただくなど、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

◎この件に関するお問い合わせ

海老名市消防本部警防課 電話 046-231-0921